

第6章

計画の推進と評価

この章では、計画を実施・評価する体制について述べていきます。



1. 計画の推進について

この計画は平成 22 年度を目標年度とする調布市の健康づくりのビジョンを示すものです。健康づくりは市民一人ひとりが主体的に取り組む、それを社会全体で応援していくことが必要です。今後は、ビジョンの実現を目指して、市民、健康づくりにかかわる団体や企業、行政が連携を進めますが、これを深めていくためには、調布市の現状や課題、これをふまえた行政や市民の活動について、認識を共有することが重要です。

一人ではできないことでもみんながそれぞれできることを、それぞれの方法で協力しあっていくために、定期的に情報交換を行い、健康なまちづくりを進めていく体制を整備します。

2. 計画の推進体制と評価

計画（Plan）は、実施（Do） 評価（Check） 改善（Action）という過程（いわゆる「PDCA サイクル」¹⁾）を毎年経ながら推進していきます。評価（および改善への示唆）は、以下の制度によって行います。

そして平成 22 年度の最終年度には、アンケート調査等により分野別目標の達成状況を確認し、計画全体の評価をします。

（1）「調布市行政評価システム」による事業評価

計画内容の実施状況は、他のあらゆる市の施策と同様に、「調布市行政評価システム」²⁾において、年に 1 回、事務事業評価を行います。

評価結果は、健康課その他の関係各課にフィードバックされると共に、市民にも公開されます。

¹⁾ 「PDCA サイクル」：行政や企業の経営を継続的に改善する取組みとして、多くの自治体が入力している考え方です。

²⁾ 「調布市行政評価システム」：行政が実施している施策や事務事業の成果や効果を振り返り（評価）、その評価結果を次の企画（計画、予算等）に反映していくしくみのことです。

(2) 「調布市健康づくり推進協議会」への報告

また、計画内容の実施状況は、「調布市健康づくり推進協議会」¹⁵⁾に報告し、計画内容や実施方法の改善について助言を仰ぎます。助言内容は公開されます。

健康づくり推進協議会は、市民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、条例によって設置されているもので、医師会・歯科医師会・薬剤師会の各会員、学識経験者、東京都多摩府中保健所職員、市職員から構成されています。

(3) 「調布健康づくり“始める”委員会」との協働

さらに、計画の実施に当たっては、(仮称)「調布健康づくり“始める”委員会」と協働し、計画内容や実施方法の改善にむけて取組みます。

第5章で述べたように「“始める”委員会」は市民が核となるものであり、「“始める”委員会」がかかわることで、計画は行政や専門家だけでなく市民が協働して推進していくものとなります。また、さらに広く市民の計画推進への参加を得るため、「“始める”委員会」とは別に、計画の推進状況について市民に報告する機会も設けます。

《計画の推進体制～「PDCA サイクル」と評価制度》

